

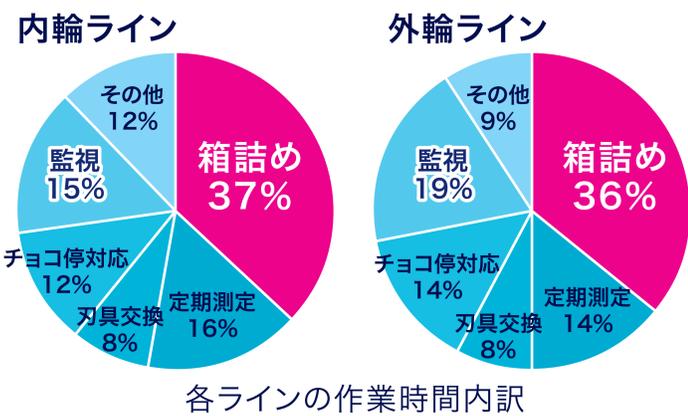
# 簡易作業は協働ロボットにお任せ！省人化を図る！

## 取組みを始めた背景

若手人材が少なく、高年齢化が進む中、ロボット化での自動化、省人化が急務。

主力生産品目のひとつである自動車向けのベアリングは、現状の単価より更に安い価格を求められている。同業他社との価格競争力や差別化は避けて通れない状況であり生産性の向上は“待ったなし”。

**簡易な「箱詰め作業」が作業者の作業時間の1/3を占めている。ここを省人化できないか!?**

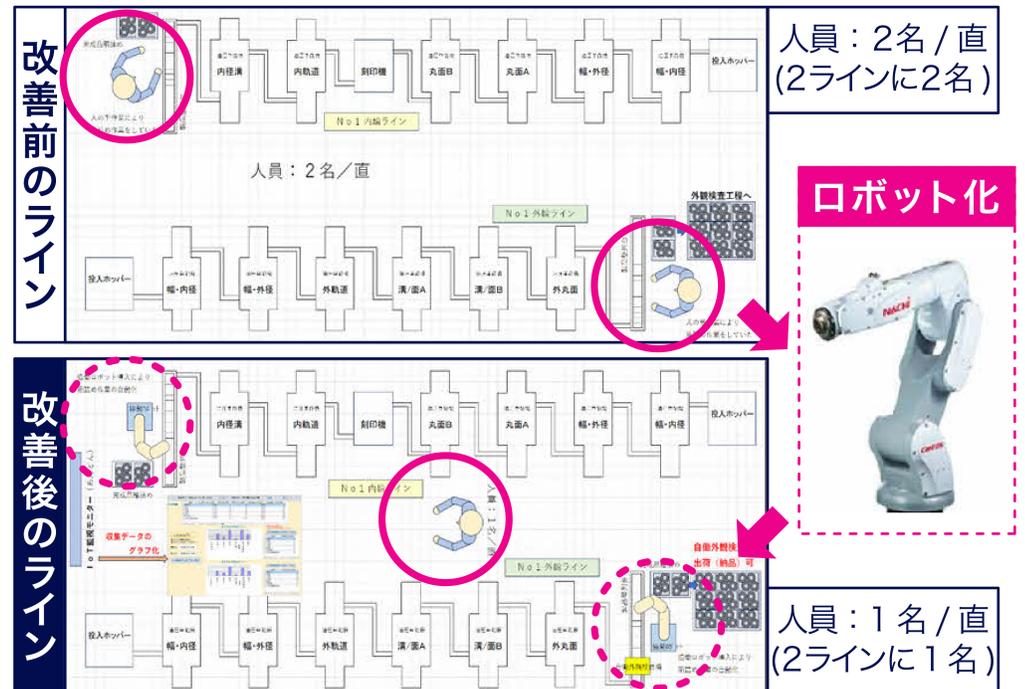


## 株式会社 ヨコタコーポレーション

ベアリング、自動車部品等の旋削加工、FA機械の開発設計・製造

## 取組み内容

箱詰め作業工程に**協働ロボットを導入**し、省人化を図り生産性を高める。



さらにインラインでの**外観検査も自動化!**

## 効果（成果）

- 1 ロボット化による人員効率アップ【4名/2直 ⇒ 2名/2直（2名減）】**
  - 人員削減効果：2名減 × 350,000円/月（人件費） = 700,000円/月 **効果益：8,400,000円/年間**
- 2 人材活用による売り上げ拡大**
  - これから急速な普及が見込まれるEV関連の新規受注や、高付加価値製品の新規受注につなげる  
仮試算）新規EVベアリングに従事したとして（2名）
    - ・【加工高】300,000個/月 × 30円（加工単価） = 9,000,000円/月
    - ・【製造コスト】（人件費）700,000円/月 +（その他製造コスト）5,000,000円/月 = **5,700,000円/月**
    - （加工高）9,000,000円/月 -（製造コスト）5,700,000円/月 = 3,300,000円/月 **効果益：39,600,000円/年**

## 今後の取り組み

他工場でも検査・梱包作業のオートメーション化を実現し、更なる収益性の拡大を目指す。

若手社員の積極的な参加が大きな役割を果たした。今後も、若手DX人材の育成、レベルアップにつながる企画、教育体制を築き続けていく。

DX推進により、職場環境の改善や若手社員の活躍の場の広がりを実現し、魅力ある企業づくりを進め、若手人材の採用につなげたい。

新たな挑戦とDX推進は切り離せない!!

